



神出の樹

平成25年11月14日発行
県立神出学園
神戸市西区小束野30
078-965-1122

毎月1回、主な行事を中心に、神出学園の様子をみなさんにお知らせする学園通信「神出の樹」平成25年度第6号をお届けします。

＜創立20周年記念式典・第19回学園祭＞



県立神出学園が創立20周年を迎え、11月3日（日）に記念式典が盛大に行われました。保護者の皆様や多くの来賓の方々のご臨席を賜り、式典では、井戸敏三兵庫県知事が主催者を代表されご挨拶をされました。この20年の間に神出を修了した学園生は513名を数えます。その全員の修了生を代表して、記念イベントでは先輩達3名が、それぞれの神出学園への思いを語り、参列者の大きな共

感を得て、感動的な記念イベントとなりました。午後からの学園祭もあり、学園生にとっては大変な1日でしたが、会場設営から様々な事前準備、当日には司会進行や照明係等、本当に主体的に役割を果たし、よく頑張ってくれました。昼食は来て頂いたほとんどの方に「振る舞いカレー」や「神出名物：焼き芋」を食べて頂きました。

午後からの学園祭では、学園生達は益々躍動しました。各種模擬店、ステージ発表では「バンド演奏」や、合唱「神出の僕ら」、「銅板レリーフ」披露など、学園生みんながお客様に対していわゆる、「お・も・て・な・し！」の心で接して、多いに盛り上がった充実した一日となりました。





※20周年記念植樹、学園祭での「神出の僕ら」合唱の一コマです。

＜神出学園スタッフの「座右の銘」＞

林 隆一郎さん（総務スタッフ）

「人間万事塞翁が馬」

この言葉は、中国の古い出来事（故事）からできたもので、意味を短く述べると、人間の運・不運（吉凶・禍福）は、どう転ぶか予想できない、だから一喜一憂すべきではないということです。中国の塞翁（塞老人）の息子は名馬から落馬しました。しかし、怪我したおかげで息子は戦争に行かずに済み、一命をとりとめました。生きているといろいろなことが起こります。もちろん良いことばかりというわけにいかない。思い通りにいかないことも多々あると思います。しかし、そのことが次へどうつながっていくかはわからないものです。

つらい事、悲しい事も自分の中でしっかりと受けとめ、今後の糧とすることで、人生の荒波を乗り越える力になるのだと思います。

そういえば、来年は午（うま）年です。みんなそれぞれが経験する「うま」もきっとあなたたちの成長へとつながっていくでしょう。



